

MS320
取り扱い説明書



ユニテック・ジャパン株式会社
2007.8 第2版

目次

概要	5
インストール	5
キーボード	5
RS-232	5
USB	5
MS320 プログラミング	7
インターフェースの選択	9
キーボード	10
RS-232	15
スキャン	18
表示	22
UPCA	24
UPCE	27
EAN-13(JAN-13)	30
EAN-8(JAN-8)	34
Code 39	37
Interleaved 2 of 5	41
Industrial 2 of 5	44
Matrix 2 of 5 Eur	46
Codabar(NW7)	48
Code-128	51
Code-93	54
Code-11	56
MSI/plessey	58
Telepen	62

Standard 2 of 5	64
China Post	66
Italian Pharmacy Code	68
PDF-417	70
RSS-14	72
RSS-Limited	74
RSS-Expanded	76
文字列の操作	78
送信	82
テストチャート	86
CODABAR-PARA	86
CODE-11 PARA	86
CODE-128 PARA	86
CODE-39 PARA	86
CODE-93 PARA	86
EAN-13 PARA	86
STANDARD-25 PARA	87
EAN-8 PARA	87
INDUSTRIAL-25 PARA	87
UPCE PARA	87
INTERLEAVED-25 PARA	87
MATRIX 25 PARA	88
MSI/PLESSEY PARA	88
UPCA PARA	88
UK/PLESSEY PARA	88
PDF417	88

パラメータ設定リスト 90

概要

インストール

キーボード

1. 最初にコンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータの背面からキーボードケーブルを抜きます。
3. スキャナにインターフェースケーブルを接続し、キーボードコネクタをコンピュータに接続します。キーボードをスキャナからのもう一方のコネクタと接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。

RS-232

1. コンピュータの電源を切ります。
2. スキャナにインターフェースケーブルを接続し、電源アダプタをケーブルの DC ジャックに接続します。
3. シリアルコネクタをコンピュータ背面のシリアルコネクタに接続します。コネクタを二つのネジでしっかりと止めます。
4. 電源アダプタをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータの電源を入れます。

USB

USB ケーブルをスキャナと PC に接続します。
Windows は自動的に USB デバイスを検出します。

各バーコードの標準設定は以下の通りです。

コード	読み取り 可能	チェックサム 検証 可能	チェックサム 送信 可能	コード ID
	MS320			
UPC-A				A
UPC-E				E
EAN-13				F
EAN-8				FF
Code-39				*
Interleaved 2 of 5				i
Industrial 2 of 5		-	-	i
Matrix 2 of 5				B
Codabar				%
Code-128				#
Code-93				&
Code-11		1桁		O
MSI/Plessey				@
UK/Plessey				@
Telepen				S
Standard 2 of 5		-	-	i
China Post				t
Italian Pharmacy Code.				p
PDF417				

MS320 プログラミング

MS320 をプログラムするには、一連のプログラミング用バーコードを順番にスキャンします。本マニュアルの最後には英数字のバーコードがあり、これらはオプションを選択するために使用します。


各オプションをプログラミングするには、以下のように行います：

1. パラメータ設定セクションの **プログラム** バーコードをスキャンします。
2. **オプションバーコード** をスキャンしてオプションモードを入力します。(パラメータ設定セクションにあります。)
3. オプションバーコードの右側に、必要な英数入力ガリストされています。**最終ページ**の数値入力バーコードをスキャンします。上記のステップを確認するために、最終ページにある**入力終わりバーコード**をスキャンする必要があります。
4. プログラムが終了したら、各パラメータ設定セクションの右下角にある**終了**バーコードをスキャンします。



プログラム

プログラムバーコード

オプションバーコード	オプション	英数入力
	キーボード	00 *
インターフェース 選択	RS-232	01
	USB	03
	キーボード/RS-232	04
	自動検出	
	予約	05



終了

オプションバーコード

終了バーコード

最終ページ

入力終わりバーコード

インターフェースの選択

このデコーダ内蔵スキャナは、キーボードウェッジ、RS232 シリアルウェッジ、そして USB インターフェースをサポートしています。ほとんどの場合、ケーブルに対応したデバイスのコードを選択すると指定したインターフェースが動作します。


インターフェース選択: 工場から出荷されたインターフェースを他のタイプのインターフェースに変更することができます。他のケーブルと付け替え、インターフェースを設定すると、スキャナは他のインターフェースになります。しかし、どのケーブルが必要かを確認する必要があります。

キーボード/RS232/USB 自動検出: この機能を設定することによって、キーボードウェッジ、RS232 または USB を自動的に選択します。



\$%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *1AA* インターフェース 選択	キーボード	00
	RS-232	01
	USB	03
	キーボード /RS232/USB	} 04 *
	自動検出	
	予約	05

ノート: * -標準値



%\$\$

終了

キーボード


キーボードインターフェースでは、スキャナはほとんどの PC や IBM ターミナルをサポートしています。インストールはソフトウェアやハードウェアの変更なしにたいへん簡単に行うことができます。

キーボードタイプ: ホストコンピュータのキーボードコネクタの種類を選択します。スキャナは適当なホストインターフェースケーブルが選択されなければなりません。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *2AA*	IBM AT, PS/2	00 *
キーボードタイプ	予約	01
	予約	02
	予約	03
	予約	04
	予約	05
	予約	06



%SS

終了

キーボード

キーボードレイアウト: 英語キーボードレイアウト以外に多数のキーボードレイアウトを選択することができます。最初にどの国のキーボードレイアウトを選択するかを確認する必要があります。

キーボード速度: ホストコンピュータとマッチするスキヤナの出力速度を変更することができます。通常、速度が速い場合は、 または をセットします。バーコードのある出力文字が失われる場合、ホストのキーボード速度に合うように または をセットする必要があります。




ファンクションキー: にセットすると、スキヤナはバーコードデータが ASCII 0116 から 1F16 を含んでいるとアプリケーションプログラムでファンクションキーを押したとしてコードを出力します。82 ページの ASCII コード表をご覧ください。

数字キー: アプリケーションプログラムがキーパッドの数字コードだけを受け取る場合、 を選択しなければなりません。スキヤナは、数字を読んだときに数字キーパッドが押されたとしてコードを出力します。(キーパッドはキーボードの右側にあり、Num Lock コントロールキーがオンになっています。) が選択されると、Caps Lock と出力は別になります。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
	米国	00 *
	ベルギー	01

キーボードレイアウト	デンマーク	02
	フランス	03
	ドイツ	04
	イタリア	05
	ポルトガル	06
	スペイン	07
	スウェーデン	08
	スイス	09
	イギリス	10
	ラテンアメリカ	11
	日本語	12
	 *2AC* キーボード速度	0-8 0 : 高クロック 速度 8 : 低クロック 速度
 *2AD* ファンクションキー	無効 有効	00 01 *
 *2AE* 数字キー	英字キー 数字キーパッド (Num lock 時のみ) Alt+キーパッド	00 * 01 02



%SS

終了

キーボード

Caps Lock: Caps ロック または Caps ロック無しを選択することによって、スキャナは Caps Lock の状態を得ることができます。

パワーオンシミュレーション: すべての PC は電源が入れたときの自己テストでキーボードの状態をチェックします。キーボード無しで使用している場合には 有効 にしてください。PC の電源を入れたときにキーボードタイミングとキーボードがあるようにシミュレートします。

文字間遅延: この遅延時間は各データ文字の間に挿入されて送信されます。送信速度が速い場合、システムはすべての文字を受け取ることができないかもしれません。システムが正しく動作するように調整して適当な遅延を見つけて下さい。

ブロック送信遅延: バーコードデータ出力間の遅延時間です。短いバーコードデータまたは複数フィールドスキャンを連続して送信する場合に使用します。



S%-PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *2AF* Caps ロック	Caps ロック " ON " Caps ロック " OFF "	00 01 *
 *2AG* パワーオン シミュレーション	無効 有効	00 * 01
 *2AH* 文字間遅延	00-99 ミリ秒 2 ミリ秒	00-99 02 *
 *2AI* ブロック間送信遅延	00-99 10 ミリ秒	00-99 10 *



%SS

終了

RS-232

CTS: クリアツーセンド(ハードウェア信号)

RTS: リクエストツーセンド(ハードウェア信号)

Xon: 送信オン(ASCII コード 11₁₆)

Xoff: 送信オフ(ASCII コード 13₁₆)

フローコントロール:

なし-通信は TxD と RxD 信号のみを使用し、ハードウェアもしくはソフトウェアのハンドシェイクプロトコルはいっさい使用しません。

RTS/CTS-スキャナがバーコードデータをホストコンピュータに送信するとき、RTS 信号を先ず出して、ホストコンピュータから CTS 信号を待ち、そして通常のデータ通信を行います。タイムアウト時間(応答遅延)待ってもホストコンピュータから CTS 信号の応答がない場合、スキャナは5つの警告ビープを出します。

Xon/Xoff- ホストコンピュータがデータを受け入れることができない場合、スキャナにデータの送信を待つように Xoff コードを送信し、そして続けるには Xon を送信します。

ACK/NAK- ACK/NAK プロトコルを使用する場合、スキャナはデータ送信後にホストコンピュータから ACK (了解) または NAK(了解できない) を待ち、そして NAK の応答として再送します。

文字間遅延: データ出力のデータ文字間の遅延です。キーボードウェッジの 文字間遅延 と同じです。

ブロック送信遅延: バーコードデータ出力間の遅延時間です。キーボードウェッジの ブロック間送信遅延 と同じです。

応答遅延: この遅延はホストコンピュータからのハンドシェイクについてスキャナのシリアル通信待ちに使われます。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*3AA*</p> <p>フローコントロール</p>	<p>なし</p> <p>RTS/CTS</p> <p>Xon/Xoff</p> <p>ACK/NAK</p>	<p>00 *</p> <p>01</p> <p>02</p> <p>03</p>
<p>*3AB*</p> <p>文字間遅延</p>	<p>00-99 (ミリ秒)</p>	<p>00-99</p> <p>00 *</p>
<p>*3AC*</p> <p>ブロック送信遅延</p>	<p>00-99 (10 ミリ秒)</p>	<p>00-99</p> <p>00 *</p>
<p>*3AD*</p> <p>応答遅延</p>	<p>00-99</p> <p>(100 ミリ秒)</p>	<p>00-99</p> <p>20 *</p>



終了



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *3AE* 転送速度	300 BPS 600 BPS 1200 BPS 2400 BPS 4800 BPS 9600 BPS 19200 BPS 38400 BPS	00 01 02 03 04 05 * 06 07
 *3AF* パリティ	なし 奇数 偶数	00 * 01 02
 *3AG* データビット	8 ビット 7 ビット	00 * 01
 *3AH* ストップビット	1 ビット 2 ビット	00 * 01



終了

スキャン

スキャンモード:

トリガ-スキャンを行うにはトリガボタンを押さなければなりません。スキャナの光源は、正しく読みとれた場合、もしくは **スタンバイ時間** 経過後に何もコードがデコードされなかった場合にストップします。

モーメンタリー-トリガボタンはスイッチのように働きます。ボタンを押すとスキャンを開始し、ボタンを離すとスキャンを停止します。

オルタネート-トリガボタンはトグルスイッチのように働きます。ボタンを押すとスキャンを開始または停止します。

タイムアウトオフ-トリガボタンはスキャンを開始するためにオンにしなければならず、スキャナは **スタンバイ時間** 経過後にデコードがされなかった場合に停止します。

連続-スキャナは常に読み取りを続けます。トリガボタンが押されたかどうか、あるいは時間の経過には関係ありません。

同一バーコード遅延時間: バーコードが二回スキャンされた場合、最初のバーコードのみが有効になります。

多重確認: これが有効な場合、スキャナはバーコードデータを複数回正しく読み取る必要があります。誤読を防ぐために必要な回数を示します。多重確認をセットした場合、複数フィールドスキャンが有効な機能は動作しません。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *7AA* スキャンモード	トリガ モーメンタリー オルタネート タイムアウトオフ 連続	00 01 * 02 03 04
 *7AB* スタンバイ時間	01-99 (秒)	00-99 10 *
 *7AC* 同一バーコード遅延 時間	01-99 (10 ミリ秒)	01-99 50 *
 *7AD* 多重確認	00-99 (00: 多重確認無 し)	00-99 00 *



%SS

終了

スキャン

グローバル最小/最大コード長: グローバル最小と最大コード長はデータ入力を限定するためにセットすることができます。長さは送信される実際のバーコードデータ長として定義されます。この制限を越える長さのラベルははねられます。セットする最小長は最大長を超えないことを確認し、そうでなければシンボルのラベルは読めません。特に、固定長のバーコードをデコードするために最小と最大の読み取り長を同じ値にセットすることができます。セットする値は固定長のシンボル(EAN 等)には影響ありません。

ノート 1): 個々のバーコードについて特別な要求がある場合、最小/最大長をセットして下さい。

2): グローバル最小/最大コード長をセットしたい場合、チェックサムデジットを含んで下さい。

反転イメージスキャン: 白/黒の背景に黒/白バーコードの両方をスキャンする場合、スキャナに **[有効]** をセットします。

CTS トリガ: この動作は外部デバイスがスキャンのコントロールができるようにします。CTS トリガは外部トリガ信号を CTS 入力に入れることによってコントロールされます。これが働いているとき、この信号はスキャナのトリガが押されたとしてスキャンを開始します。

位置表示: この機能はスキャンする前に位置のガイドを示す光を発することができます。表示する時間をセットすることもできます。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 7AE	無効	00 *
	有効	01
マルチフィールドスキャン		

 *7AF* グローバル最小コード長	00-63	00-63 04 *
 *7AG* グローバル最大コード長	00-63	04-63 63 *
 *7AH* 反転イメージスキャン	無効 有効	00 * 01
 *7AI* CTS トリガ	無効 有効	00 * 01
 *7AK* 位置ガイド表示	無効 30 秒 60 秒 90 秒 120 秒 150 秒 180 秒 連続	00 * 01 02 03 04 05 06 07



終了

表示

電源オンビープ: スキャナの電源を入れた後、自己テストが行われたことを示すビープ音が鳴ります。

LED 表示: 読み取るたびに、スキャナ上の LED は正しく読み取ることができたことを示すために点灯します。

ブザー表示: 読み取るたびに、スキャナは正しく読み取ることができたことを示すためにビープ音を発します。そして **ビープ音量**、**ビープ音周波数** そして **ビープ時間** は調整可能です。

ビープ音量/ビープ周波数/ビープ時間: 読み取り時の **ビープ音量**、**ビープ音周波数** と **ビープ時間** は好みに合わせて調整することができます。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *5AA* 電源オンビープ	無効 有効	00 01 *
 *5AB* LED 表示	無効 有効	00 01 *
 *5AC* ブザー表示	無効 有効	00 01 *
 *5AD* ビープ音量	00-07	00-07 07 *
 *5AE* ビープ音周波数	00-99 (100Hz)	00-99 26 *
 *5AF* ビープ時間	00-99 (10 ミリ秒)	00-99 10 *



%SS

終了

UPCA

読み取り: フォーマット

先頭 ゼロ	データ桁 (11 桁)	チェック デジット
----------	----------------	--------------

チェックサム送信: をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

先頭桁/末尾桁切り捨て: バーコードデータ文字の先頭桁または末尾桁がゼロ以外にセットされている場合、これらの値は捨てられます。切り捨てられる値がバーコード桁以上、あるいは「先頭切り捨て」の値が「末尾切り捨て」と重なっている場合読み取る代わりにピープ音を出します。切り捨てられる最大桁数は 15 です。

コード ID 設定: **コード ID 設定** は連続して読み取るシンボルを表すために使用される文字です。 **コード ID 設定** はこの機能が選択された場合に送信される開始または終了データのプリフィックスです。コード ID を送信したい場合、先ずコード ID 送信を にする必要があります。コード ID 送信をご覧ください。

挿入グループ選択: スキャナは自身のシンボルについて一つまたは二つの挿入グループを提供しています。挿入したいグループを表すために一桁、もしくは二桁をセットします。文字挿入をご覧ください。

例: グループ 2 02 または 20 をセット
グループ 1 と 4 14 または 41 をセット



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 読み取り	無効 有効	00 01 *

 *NAB* チェックサム検証	無効 有効	00 01 *
 *NAC* チェックサム送信	無効 有効	00 01 *
 *NAD* 最大コード長	00-64	00-64 64 *
 *NAE* 最小コード長	00-64	00-64 01 *
 *NAF* 先頭切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *NAG* 末尾切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *NAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < A > *
 *NAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



UPCA

補助桁: 補助桁バーコードは、WPC(EAN/JAN/UPC) コードの2 または 5 文字の補助桁です。

フォーマット

先頭ゼロ	データ桁 (11 桁)	チェック 桁	補助桁 2 または 5 または UCC / EAN 128
------	----------------	-----------	-------------------------------------

先頭ゼロ切り捨て: UPCA データ文字の先頭の "0" 桁はこの機能が有効な場合には切り捨てられます。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*NAJ*</p> <p>補助桁</p>	なし 2 桁 5 桁 UCC/EAN 128 自動検出	00 * 01 02 03 04
<p>*NAK*</p> <p>先頭桁ゼロ切り捨て</p>	無効 有効	00 01 *



%SS

終了

UPCE

読み取り：フォーマット

先頭ゼロ	データ桁 (6 桁)	チェック デジット
------	---------------	--------------

チェックサム検証: EAN-13 のチェックサムはオプションで、データ桁の数値の和として作られます。

チェックサム送信: 有効をセットすることによって、チェックサムが送信されます。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 OAA 読み取り	無効 有効	00 01 *
 OAB チェックサム検証	無効 有効	00 01 *
 OAC チェックサム送信	無効 有効	00 01 *



%SS

終了

UPCE

先頭桁/末尾桁切り捨て: UPCA の先頭桁/末尾桁切り捨てをご覧下さい。

コード ID セット: UPCA のコード ID 設定をご覧下さい。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧下さい。

補助桁:

フォーマット

先頭ゼロ	データ桁 (6 桁)	チェック デジット	補助桁 2 または 5 または UCC/EAN 128
------	---------------	--------------	-----------------------------------

先頭ゼロ切り捨て: UPCA の先頭ゼロ切り捨てをご覧下さい。

拡張: 拡張機能は UPCE と EAN-8 コード読み取りでのみ使用されます。これはこの機能が有効な場合、"0" の桁で 13 桁に拡張します。

例: バーコード "0123654"

出力: "0012360000057"



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数キー
<p>*OAF*</p> <p>先頭切り捨て</p>	0-15	00-15 00 *
<p>*OAG*</p> <p>末尾切り捨て</p>	0-15	00-15 00 *

 *OAH* コード ID 設定	00-f fH ASCII コード	00-f fH < E > *
 *OAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *OAJ* 補助桁	なし 2 桁 5 桁 UCC/EAN 128 自動検出	00 * 01 02 03 04
 *OAK* 先頭ゼロ切り捨て	無効 有効	00 * 01
 *OAL* 拡張	無効 有効	00 * 01



%SS

終了

EAN-13(JAN-13)

読み取り: フォーマット

データ桁 (12 桁)	チェックデジット
-------------	----------

チェックサム検証: EAN-13 のチェックサムはオプションで、データ桁の数値の和として作られます。

チェックサム送信: をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長: 各シンボルは独自の最小/最大コード長があります。これらはデータ入力を限定するためにセットすることができます。これらの最小/最大コード長がゼロの場合、グローバル最大/最小長が基本です。長さは送信される実際のバーコードデータ長として定義されます。これらの制限を超える長さのラベルははねられます。最小長の設定が最大長の設定を超えない、あるいはそうでなければこのシンボルのすべてのラベルは読みとれません。特に、固定長のバーコードをデコードするために最小と最大の両方を同じ値にすることができます。

先頭/末尾切り捨て: UPCA の先頭/末尾切り捨てをご覧下さい。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 GAA 読み取り	無効 有効	00 01 *
 GAB チェックサム検証	無効 有効	00 01 *

 *GAC* チェックサム送信	無効 有効	00 01 *
 *GAD* 最大コード長	00-64	00-64 64 *
 *GAE* 最小コード長	00-64	00-64 01 *
 *GAF* 先頭切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *GAG* 末尾切り捨て	0-15	00-15 00 *



終了

EAN-13

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。

補助桁:

フォーマット

データ桁 (12 桁)	チェック デジット	補助桁 2 または 5 または UCC / EAN 128
----------------	--------------	-------------------------------------

ISBN/ISSN: ISBN (International Standard Book Number) と ISSN (International Standard Serial Number) は書籍と雑誌用のバーコードです。ISBN は先頭が “ 978 ” の 10 桁、そして ISSN は “ EAN-13 ” シンボルの先頭が “ 977 ” の 8 桁です。

例: バーコード “ 9789572222720 ” 出力:

“ 9572222724 ”

例: バーコード “ 9771019248004 ” 出力: “ 10192484 ”



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*GAH*</p> <p>コード ID 設定</p>	00-ffH ASCII コード	00-ffH < F > *
<p>*GAI*</p> <p>挿入グループ選択</p>	00-44	00-44 00 *

 *GAJ* 補助桁	なし 2桁 5桁 UCC/EAN 128 自動検出	00 * 01 02 03 04
 *GAL* ISBN/ISSN 変換	無効 有効	00 * 01



終了

EAN-8(JAN-8)

読み取り：フォーマット

データ桁 (7 桁)	チェック デジット
---------------	--------------

チェックサム検証： EAN-8 のチェックサムはオプションで、データ桁の値の和として作られます。

チェックサム送信： 有効 をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長： EAN-13 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾切り捨て： UPCA の先頭/末尾切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定： UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択： UPCA の挿入グループ設定をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*FAA*</p> <p>読み取り</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00</p> <p>01 *</p>
<p>*FAB*</p> <p>チェックサム検証</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00</p> <p>01 *</p>
<p>*FAC*</p> <p>チェックサム送信</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00</p> <p>01 *</p>

 *FAD* 最大コード長	00-64	00-64 64 *
 *FAE* 最小コード長	00-64	00-64 01 *
 *FAF* 先頭切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *FAG* 末尾切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *FAH* コード ID 設定	二文字 00-ffH ASCII コード	00-ffH, 00-ffH < FF > *
 *FAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

EAN-8

補助桁: フォーマット

データ桁 (7 桁)	チェック デジット	補助桁 2 または 5 または UCC/EAN 128
---------------	--------------	-----------------------------------

先頭ゼロ切り捨て: UPCE の先頭ゼロ切り捨てをご覧ください。

拡張: UPCE の拡張をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*FAJ*</p> <p>補助桁</p>	なし 2 桁 5 桁 UCC/EAN 128 自動検出	00 * 01 02 03 04
<p>*FAK*</p> <p>先頭ゼロ切り捨て</p>	無効 有効	00 * 01
<p>*FAL*</p> <p>拡張</p>	無効 有効	00 * 01



%SS

終了

Code 39

読み取り：フォーマット

スタート “ ”	データ桁 (可変長)	チェックサム (オプション)	エンド “ ”
-------------	---------------	-------------------	------------

チェックサム検証：Code-39のチェックサムはオプションで、データ桁の数値の和の Module 43 として作られます。

チェックサム送信：有効を設定することによって、チェックサムが送信されます。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数
 BAA 読み取り	無効 有効	00 01 *
 BAB チェックサム検証	無効 有効	00 * 01
 BAC チェックサム送信	無効 有効	00 * 01



%SS

終了

Code 39

最小/最大コード長: 各シンボルは独自の最小/最大コード長を持っています。これらはデータ入力を限定するためにセットすることができます。これらの最大/最小コード長がゼロの場合、グローバル最大/最小長が基本です。長さは送信される実際のバーコードデータ長として定義されます。これらの制限を超える長さのラベルははねられます。最小長の設定が最大長の設定を超えないかを確認し、あるいはそうでなければシンボルのすべてのラベルは読めません。特に、固定長バーコードのデコードは最小と最大の両方に同じ値をとります。

先頭/末尾切り捨て: UPCA の先頭/末尾切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。

フォーマット: Full ASCII コード-39 は、全 ASCII コードを表す合計 128 文字を持つデータで、Code39 の強化版です。これは英字(A から Z)と一桁 +、%、\$ と / を組み合わせたものです。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 最大コード長	00-64	00-64 00 *

 *BAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *BAF* 先頭桁切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *BAG* 末尾桁切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *BAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII code	00-ffH < * >
 *BAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *BAJ* フォーマット	標準 全 ASCII	00 * 01



終了

Code 39

追加: この機能は複数のシンボルを結合し一つのデータ入力として扱うことができます。スキャナは組み込まれた追加コード(Code-39ではスペース)は送信しません。**有効** がセットされ、他のシンボルが再度追加コードと共に読み込まれた場合、コードはコード ID、プレアンブルとプリフィックスなしに送信されます。シンボルが追加コードなしにデコードされた場合、データはコード ID とプリフィックスなしに送信されますが、ポストアンブル・サフィックスコードは追加されます。この機能は Code 39 の最初がスペースの場合に使用されます。例: 123456.

開始/終了文字送信: Code-39の開始と終了文字は“ ”です。二つの“ ”を含むすべてのデータ桁を送信することができます。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 追加	無効 有効	00 * 01
 開始/終了文字 送信	無効 有効	00 * 01



終了

Interleaved 2 of 5

読み取り：フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム (オプション)
---------------	-------------------

チェックサム検証： チェックサムはすべてのデータ桁の数値の和の modulo 10 として作られます。

チェックサム送信： を設定することにより、チェックサムが送信されます。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*IAA*</p> <p>読み取り</p>	無効 有効	00 01 *
<p>*IAB*</p> <p>チェックサム検証</p>	無効 有効	00 01 *
<p>*IAC*</p> <p>チェックサム送信</p>	無効 有効	00 * 01



終了

Interleaved 2 of 5

最小/最大長: Code-39 の最小/最大長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 IAD 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 IAE 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 IAP 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 IAG 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *

 *IAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード*	00-ffH < i > *
 *IAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



%SS

終了

Industrial 2 of 5

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム (オプション)
---------------	-------------------

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*HAA*</p> <p>読み取り</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00 *</p> <p>01</p>
<p>*HAD*</p> <p>最大コード長</p>	<p>00-64</p>	<p>00-64</p> <p>00 *</p>
<p>*HAE*</p> <p>最小コード長</p>	<p>00-64</p>	<p>00-64</p> <p>00 *</p>

 *HAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *HAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *HAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < i > *
 *HAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

Matrix 2 of 5 Eur

読み込み: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム (オプション)
---------------	-------------------

チェックサム検証: チェックサムはすべてのデータ桁の数値の和の Modulo 10 として作られます。

チェックサム送信: 有効 をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *PAA* 読み取り	無効 有効	00 * 01
 *PAB* チェックサム検証	無効 有効	00 * 01
 *PAC* チェックサム送信	無効 有効	00 * 01

 *PAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 *PAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *PAF* 先頭桁切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *PAG* 末尾桁切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *PAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < B > *
 *PAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

Codabar (NW7)

読み取り: フォーマット

開始	データ桁(可変)	チェックサム (オプション)	終了
----	----------	-------------------	----

チェックサム検証: チェックサムはすべてのデータ桁の数値の和の module 16 として作られます。

チェックサム送信: 有効をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最大/最小コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 EAA 読み取り	無効 有効	00 * 01
 EAB チェックサム検証	無効 有効	00 * 01

 *EAC* チェックサム送信	無効 有効	00 * 01
 *EAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 *EAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *EAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *EAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *EAH* コード ID 設定	00-fFH ASCII コード	00-fFH < % > *



終了

Codabar (NW7)

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。

開始/終了タイプ: Codabar は 4 つの開始/終了パターンがあります。アプリケーションにあった一組を選択することができます。

送信開始/終了: Code 39 の送信開始/終了をご覧ください。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 開始/終了タイプ	ABCD/ABCD abcd/abcd ABCD/TN*E Abcd/tn*e	00 * 01 02 03
 送信開始/終了	無効 有効	00 * 01



終了

Code-128

読み取り：フォーマット

データ桁 (可変)	チェックサム (オプション)
--------------	-------------------

チェックサム検証：チェックサムはすべてのデータ桁の和の Modulo 103 として作られます。

チェックサム送信：をセットすることによって、チェックサムが送信されます。



S#+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *DAA* 読み取り	無効 有効	00 01 *
 *DAB* チェックサム検証	無効 有効	00 01 *
 *DAC* チェックサム送信	無効 有効	00 * 01



%SS

終了

Code-128

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。

フォーマット: Code-128 は、FNC1 文字で始まる場合 UCC/EAN-128 フォーマットに変換されます。最初の FNC1 は “ J C 1 ” に変換され、フィールド区切りコード <GS>(1D16) が続きます。

JC1	データ	<GS>	データ	チェックサム
-----	-----	------	-----	--------

追加: この機能が有効な場合、スキャナが FNC2 コードを含むバーコードを読んだ場合すぐにデータを表示しません。FNC2 コードがないバーコードを読むまですべてのデータを表示します。

フィールド分離子コード: この機能は UCC/EAN-128 フォーマットにのみ使用されます。この フィールド分離子コード は、二番目の、もしくは FNC1 の後に再指定できることを意味します。標準の ASCII コードは<GS>(1D16) です。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*DAD*</p> <p>最大コード長</p>	00-64	00-64 00 *
<p>*DAE*</p> <p>最小コード長</p>	00-64	00-64 00 *

 *DAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *DAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *DAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < # > *
 *DAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *DAJ* フォーマット	標準 UCC/EAN-128	00 * 01
 *DAK* 追加	無効 有効	00 * 01
 *DAL* UCC/EAN-128 ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < # > *
 *DAM* フィールド分離子コード	00-ffH ASCII コード	00-ffH 1DH *



Code-93

読み取り：フォーマット

データ桁 (可変)	チェックサム 1 (オプション)	チェックサム 2 (オプション)
--------------	---------------------	---------------------

チェックサム検証: チェックサムはすべてのデータ桁の和の Modulo 47 として作られます。

チェックサム送信: 有効 をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S#+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 CAA 読み取り	無効 有効	00 * 01
 CAB チェックサム検証	無効 有効(二桁)	00 01 *
 CAC チェックサム送信	無効 有効	00 * 01

 *CAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 *CAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *CAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *CAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *CAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < & > *
 *CAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

Code-11

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変)	チェックサム 1 (オプション)	チェックサム 2 (オプション)
--------------	---------------------	---------------------

チェックサム検証: チェックサムはすべてのデータ桁の和の Module 11 として作られます。

チェックサム送信: 有効 を設定することによって、チェックサム 1 とチェックサム 2 は選択したチェックサム検証の方法で送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最大/最小コード長をご覧ください。

先頭/末尾桁切り捨て: UPCA の先頭/末尾桁切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*AAA*</p> <p>読み取り</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00 *</p> <p>01</p>
<p>*AAB*</p> <p>チェックサム検証</p>	<p>無効</p> <p>1 桁</p> <p>2 桁</p>	<p>00</p> <p>01 *</p> <p>02</p>
<p>*AAC*</p> <p>チェックサム送信</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00 *</p> <p>01</p>

 *AAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 *AAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *AAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *AAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *AAH* コード ID 設定 g	00-ffH ASCII コード	00-ffH < 0 > *
 *AAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

MSI/plessey

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変)	チェックサム 1 (オプション)	チェックサム 2 (オプション)
--------------	---------------------	---------------------

チェックサム検証: MSI/Plessey は一つまたは二つのオプションチェックデジットを持っています。チェックサムは3つの方法 `Mod10`、`Mod10/10` と `Mod 11/10` で表されます。チェックサム 1 とチェックサム 2 はデータ桁の和の Module 10 または 11 として計算されます。

チェックサム送信: `有効` をセットすることによって、チェックサム 1 とチェックサム 2 は選択したチェックサム検証の方法で送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 KAA 読み取り	無効	00 *
	有効	01
 KAB チェックサム検証	無効	00 * (8110)
	Mod 10	01 * (8150/8210)
	Mod 10/10	02
	Mod 11/10	03

 *KAC* チェックサム送信	無効 有効	00 * 01
 *KAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 *KAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *KAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *KAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *KAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < @ > *
 *KAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

UK/plessey

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム 1+2 (オプション)
---------------	-----------------------

チェックサム検出: UK/Plessey は一つ、もしくは二つのチェックサム桁を持っています。チェックサム 1 とチェックサム 2 はデータ桁の和の Module 10 または 11 として計算されます。

チェックサム送信: をセットすることによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *LAA* 読み取り	無効 有効	00 * 01
 *LAB* チェックサム検証	無効 有効	00 01 *
 *LAC* チェックサム送信	無効 有効	00 * 01

 *LAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *
 *LAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *LAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *LAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *LAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < @ > *
 *LAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

Telepen

読み取り: IATA (International Air Transport Association)

チェックサム検証: チェックサムはデータ桁の和の Module 10 または 11 として作られます。

チェックサム送信: 有効を設定することによって、チェックサムが送信されます。

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *MAA* 読み取り	無効 有効	00 * 01
 *MAB* チェックサム検証	無効 有効	00 * 01
 *MAC* チェックサム送信	無効 有効	00 * 01
 *MAD* 最大コード長	00-64	00-64 00 *

 *MAE* 最小コード長	00-64	00-64 00 *
 *MAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *MAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *MAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < S > *
 *MAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *MAJ* フォーマット	数字のみ 全 ASCII のみ	00 * 01



終了

Standard 2 of 5

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム 1 (オプション)
---------------	---------------------

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*JAA*</p> <p>読み取り</p>	無効 有効	00 * 01
<p>*JAD*</p> <p>最大コード長</p>	00-64	00-64 00 *
<p>*JAE*</p> <p>最小コード長</p>	00-64	00-64 00 *

 *JAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *JAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *JAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < i > *
 *JAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *



終了

China Post

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変)	チェックサム 1 (オプション)
--------------	---------------------

最小/最大コード長: Code-39 の最小/最大コード長をご覧下さい。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧下さい。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧下さい。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧下さい。



\$%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*SAA*</p> <p>読み取り</p>	無効 有効	00 * 01
<p>*SAD*</p> <p>最大コード長</p>	00-64	00-64 11 *
<p>*SAE*</p> <p>最小コード長</p>	00-64	00-64 11 *

 *SAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *SAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *SAH* コード ID 設定	00- ffH ASCII コード	00-ffH < t > *
 *SAI* 挿入グループ選択	00-44	01-44 00 *



終了

Italian Pharmacy Code

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム 1 (オプション)
---------------	---------------------

最小/最大コード長: Code-39 の最大最小コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。

先頭文字 “A”: この機能が有効な場合、各データのプリフィックスは A となります。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 WAA 読み取り	無効 有効	00 * 01
 WAD 最大コード長	00-64	00-64 10 *

 *WAE* 最小コード長	00-64	00-64 09 *
 *WAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *WAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *WAH* コード ID 設定	00- ffH ASCII コード	01-ffH < p > *
 *WAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *WAJ* 先頭文字 “ A ”	無効 有効	00 * 01



終了

PDF-417

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てを
 覧下さい。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 *QAA* 読み取り	無効 有効	00 01 *
 *QAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *QAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *



%SS

終了

PDF-417

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA のグループ選択をご覧ください。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 QAH コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < > *
 QAI 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 QAJ エスケープ シーケンス送信	無効 有効	00 * 01



%SS

終了

RSS-14

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム 1 (オプション)
---------------	---------------------

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧下さい。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧下さい。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧下さい。

UCC/EAN 128 エミュレーション: 送信を参照、Code ID 送信は AIM ID 有効としてセットしなければなりません。そして Jc1 がバーコードデータ送信のプリフィックスとされます。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 読み取り	無効 有効	00 * 01

 *TAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *TAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 *TAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < R4> *
 *TAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *TAK* UCC/EAN128 エミュレーション	無効 有効	00* 01



終了

RSS-Limited

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム 1 (オプション)
---------------	---------------------

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧下さい。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧下さい。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧下さい。

UCC/EAN 128 エミュレーション: RSS-14 の UCC/EAN 128 エミュレーションをご覧下さい。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 読み取り	無効 有効	00 * 01
 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00 *
 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00 *

 *UAH* コード ID 設定	00-f fH ASCII コード	00-f fH < RL> *
 *UAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00 *
 *UAK* UCC/EAN128 エミュ レーション	無効 有効	00* 01



終了

RSS-Expanded

読み取り: フォーマット

データ桁 (可変長)	チェックサム 1 (オプション)
---------------	---------------------

最大/最小コード長: Code39 の最大/最小コード長をご覧ください。

先頭/末尾文字切り捨て: UPCA の先頭/末尾文字切り捨てをご覧ください。

コード ID 設定: UPCA のコード ID 設定をご覧ください。

挿入グループ選択: UPCA の挿入グループ選択をご覧ください。

UCC/EAN 128 エミュレーション: RSS-14 の UCC/EAN 128 エミュレーションをご覧ください。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
<p>*VAA*</p> <p>読み取り</p>	<p>無効</p> <p>有効</p>	<p>00 *</p> <p>01</p>
<p>*VAD*</p> <p>最大コード長</p>	<p>00-99</p>	<p>00-99</p> <p>99*</p>

 *VAE* 最小コード長	00-99	00-99 01*
 *VAF* 先頭文字切り捨て	0-15	00-15 00*
 *VAG* 末尾文字切り捨て	0-15	00-15 00*
 *VAH* コード ID 設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < RX> *
 *VAI* 挿入グループ選択	00-44	00-44 00*
 *VAK* UCC/EAN128 エミュレーション	無効 有効	00* 01



終了

文字列の操作

プリフィックス文字: 最大 22 ASCII 文字をデータ桁の前に送ることができます。

プリフィックス	データ桁	サフィックス
---------	------	--------

サフィックス文字: 最大 22 ASCII 文字をデータ桁の後に送ることができます。

プリアンブル/ ポストアンブル文字: 各バーコードがデコードされたときに自動的に追加されます。

例:

すべてのシンボルにプリフィックス/サフィックスまたはプリアンブル/ポストアンブルを追加します。この例では、すべてのシンボルについてプリフィックスとして\$記号を送信します。

ステップ:

- 1) プログラム と プリフィックス文字設定 バーコードをスキャンします。
- 2) \$ 24 の値を探すために ASCII コード表を使用します。
- 3) 最終ページのバーコードから 2 と 4 をスキャンします。
- 4) 最終ページの 入力終わり バーコードをスキャンします。
- 5) 終了 バーコードをスキャンします。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 プリフィックス文字 設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 サフィックス文字 設定	なし 1-22 文字	0D * 00-ffH ASCII コード

 *8AC* ブリアンブル文字 設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 *8AD* ポストアンブル文字 設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 *8AE* G1 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 *8AF* G2 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 *8AG* G3 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 *8AH* G4 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード



終了

文字列の操作

G1/G2/G3/G4 文字挿入設定: スキャナはシンボル中に4箇所、4文字を挿入することができます。

例: バーコード “1 2 3 4 5 6”.

出力- バーコード “1 2 A B 3 4 C D 5 6”.

ステップ:


- 1) **プログラム** と **G1 文字挿入設定** バーコードをスキャンします。
- 2) A 41, B 42 の値を探すために ASCII コード表を使用します。
- 3) 最終ページのバーコードから **4, 1** と **4, 2** をスキャンします。
- 4) 最終ページの **入力終わり** をスキャンします。
- 5) **G2 文字挿入設定** で同じく繰り返します。
- 6) **終了** バーコードをスキャンします。
- 7) データをグループ 1-4 の位置に挿入します。65 ページの送信の章と使用したいバーコードを参照して下さい。



S%+PRO

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 8AE G1 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 8AF G2 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
 8AG G3 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード

 *8AH* G4 文字挿入設定	なし 1-22 文字	00 * 00-ffH ASCII コード
---	---------------	-----------------------------



%SS

終了

送信

プリアンブル送信: **有効** を設定することにより、プリアンブルは送信されるデータの前に追加されます。

ポストアンブル送信: **有効** を設定することにより、ポストアンブルは送信されるデータの後に追加されます。

データグループ 1-4 挿入位置: スキャナはシンボル間の 4 箇所に挿入することができます。位置の標準値は“00”で、文字を挿入しないことを示しています。挿入位置がシンボルの大きさを超えていないことをご確認ください。そうでないと挿入データは無効になります。

コード ID 位置: 使用する上で、コード ID の送信位置は送信時に **コードデータの前** または **コードデータの後** のいずれに置くかを選択することができます。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 プリアンブル送信	無効 有効	00 * 01
 ポストアンブル送信	無効 有効	00 * 01

 *6AC* データグループ挿入 位置 1	00-64 (00: 挿入無し)	00-64 00 *
 *6AD* データグループ挿入 位置 2	00-64 (00: 挿入無し)	00-64 00 *
 *6AE* データグループ挿入 位置 3	00-64 (00: 挿入無し)	00-64 00 *
 *6AF* データグループ挿入 位置 4	00-64 (00: 挿入無し)	00-64 00 *
 *6AG* コード ID 位置	コードデータの前 コードデータの後	00 * 01



終了

送信

コード ID 送信: アプリケーションがコード ID の送信を必要とする場合、固有 ID または AIM ID をこれにセットしなければなりません。

コード長送信: **有効** が選択された場合、コードデータの前にデータの桁数が送信されます。バーコードの全長は先頭/末尾文字切り捨てを除いたバーコードデータの長さです。長さは二桁の数です。

コード名送信: この機能はスキャナのすべての読み込み可能なシンボルを含む未知のバーコードシンボルを表示します。 **有効** が選択された場合、コード名はコードデータの前に送信され、どの種類のバーコードシンボルかを知ることができます。

大小文字変換: バーコードについて、アルファベットを大文字または小文字のいずれかにセットすることができます。



プログラム

オプションバーコード	オプション	英数入力
 コード ID 送信	無効 固有 ID AIM ID	00 * 01 02
 コード長送信	無効 有効	00 * 01

 *6AJ* コード名送信	無効 有効	00 * 01
 *6AK* 大小文字変換	無効 大文字 小文字 *バーコードデータのみのみ	00 * 01 02



%SS

終了

バーコードデータの送信フォーマット:

プリフィックス	名前	プリアンブル	ID	コード	バーコードデータ	ID	ポストアンブル	サフィックス
---------	----	--------	----	-----	----------	----	---------	--------



挿入グループ

テストチャート

CODABAR-PARA



a154987a

CODE-11 PARA



654215

CODE-128 PARA



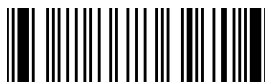
258963

CODE-39 PARA



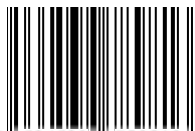
741258

CODE-93 PARA



951263

EAN-13 PARA



7 534539 789813

STANDARD-25 PARA



65978

EAN-8 PARA



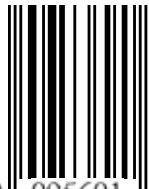
9456 2156

INDUSTRIAL-25 PARA



04976

UPCE PARA



0 095601 1

INTERLEAVED-25 PARA



46820

MATRIX 25 PARA



MSI/PLESSEY PARA



UPCA PARA



UK/PLESSEY PARA



PDF417



ASCII コード表

ノート: キーボードウェッジのみ

L \ H	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	S0	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7		7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A		:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

パラメータ設定リスト



S%+PRO

プログラム



!BS

バーコード標準パラメータ設定リスト

ホストコンピュータに接続されている MS320 の現在の設定を表示したい場合、バーコード標準パラメータ設定リストのバーコードをスキャンします。



!BU

ユニークパラメータリスト

ユニークパラメータ設定リストを表示したい場合、ユニークパラメータリストバーコードをスキャンします。



!SY

システムパラメータ設定リスト

ホストコンピュータに接続されている MS320 の製品情報とリビジョン番号を表示したい場合、システムパラメータ設定リストのバーコードをスキャンします。



!ST

文字列設定リスト

文字列フォーマットリストを表示したい場合、文字列設定リストのバーコードをスキャンします。



IVR

ファームウェアバージョンリスト

ファームウェアバージョンを表示したい場合、ファームウェアバージョンリストをスキャンします。



IIN

注意：標準値への初期化

MS-320 を工場出荷時の標準設定に戻したい場合は、標準値に初期化のバーコードをスキャンします。



%SS

終了

英数入力

